

乙 第 号

池下克実 学位請求論文

# 審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

## 論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙第号	氏名	池下 克実
論文審査担当者	委員長	教授	奥地 一夫
	委員	教授	西尾 健治
	委員	教授	岸本 年史
	(指導教員)		

### 主論文

#### Profiling Psychiatric Inpatient Suicide Attempts in Japan

#### 日本における精神科入院患者の自殺企図の特徴

Katsumi Ikeshita, Shigero Shimoda, Kazunobu Norimoto, Keisuke Arita  
Takuya Shimamoto, Kiyoshi Murata, Manabu Makinodan,  
Toshifumi Kishimoto

International Journal of Emergency Mental Health and Human Resilience  
第16巻 1号 40 - 43頁、  
2014 (平成26)年7月15日

## 論文審査の要旨

精神疾患の罹患は自殺の危険因子として重要であり、さらに精神科入院患者は自殺の危険性が高いという報告がなされている。しかし我が国では病院内の自殺事故の実態はほとんど明らかにされていない。申請者らは奈良県内の精神病棟における入院患者の自殺の実態を、後方視的に分析するとともに、その結果から自殺防止対策にむけての提言を行った。

彼らは奈良県に提出された精神病棟での自殺事故の報告書をもとに年齢、性別、精神科診断、自殺手段、事故発生時間、発生場所、転帰などについて分析を行った。11年間で35件の自殺企図が報告され、精神科診断では欧米の先行研究と同様に統合失調症や気分障害は自殺企図の危険因子として重要であることが確認された。また、病院内で発生した19件では日中の自殺企図(58%)が夜間の発生(42%)を上回った。その自殺手段として縊首によるものが約8割と高く、ドアノブやベッド柵にタオルやベルトを掛ける方法が用いられた。これらの結果は精神科入院患者の自殺が病院スタッフ数の減少する夜勤帯に多く発生するであろうとの予測に反していた。この結果をうけて、夜間はもとより日勤帯においても、病室内の自殺企図に十分注意した観察が必要なことが認識され、精神科病棟スタッフに向けての重要な提言となった。さらに、病棟内で容易に入手でき、縊首に使用しうる患者の持ち物にも注意を払い、それらを掛けることができる構造物を可能な範囲で除去することが、院内自殺の予防に有効であると結論している。

以上の結果は精神科病棟内での自殺の予防に大きな影響をもたらす重要な知見を提供し、参考論文とともに学位に値すると考える。

## 参 考 論 文

1. Assertive case management versus enhanced usual care for people with mental health problems who had attempted suicide and were admitted to hospital emergency departments in Japan (ACTION-J): a multicentre, randomised controlled trial  
Chiaki Kawanishi, Tohru Aruga, Naoki Ishizuka, Naohiro Yonemoto, Kotaro Otsuka, Yoshito Kamijo, Yoshiro Okubo, Katsumi Ikeshita, Akio Sakai, Hitoshi Miyaoka, Yoshie Hitomi, Akihiro Iwakuma, Toshihiko Kinoshita, Jotaro Akiyoshi, Naoshi Horikawa, Hideto Hirotsune, Nobuaki Eto, Nakao Iwata, Mototsugu Kohno, Akira Iwanami, Masaru Mimura, Takashi Asada, Yoshio Hirayasu, for the ACTION-J Group  
The Lancet Psychiatry, 1(3) : 193–201, 2014
2. 産褥期の統合失調症に発症した肺血栓塞栓症  
池下克実  
精神科 24(4) : 438 - 442, 2014
3. 大学附属病院における精神科救急・合併症入院料病棟の実践  
池下克実、岸本年史  
総合病院精神医学 25(4) : 369 - 375, 2013
4. 自殺企図で入院した統合失調症患者への対応  
池下克実  
救急・集中治療 24(1・2) : 97–104, 2012
5. 多職種でかかわる自殺未遂者ケア：ポイントと課題  
精神科医の立場から  
池下克実  
救急医学 36(7) : 833–835, 2012
6. White matter changes in dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease: a tractography-based study.  
Kuniaki Kiuchi, Masayuki Morikawa, Toshiaki Taoka, Soichiro Kitamura, Tomohisa Nagashima, Manabu Makinodan, Keiju Nakagawa, Masami Fukusumi, Katsumi Ikeshita, Makoto Inoue, Kimihiko Kichikawa, Toshifumi Kishimoto  
Journal of Psychiatric Research 45(8) : 1095–1100, 2011

7. 早期介入ー統合失調症を中心にー  
池下克実、岸本年史  
臨床精神医学 40(5) : 675-679, 2011
  
8. 自殺企図患者に合併している4つの代表的な精神障害  
境界性パーソナリティ障害  
池下克実  
救急医学 33(11) : 1565-1570, 2009
  
9. わが国の自殺の現状と対策  
池下克実  
奈良県医師会医学会年報 第21巻第1号 5-11, 2008

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに精神医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 26 年 11 月 11 日

学位審査委員長

救急病態制御医学

教 授 奥地 一夫

学位審査委員

総合臨床病態学

教 授 西尾 健治

学位審査委員（指導教員）

精神医学行動神経科学

教 授 岸本 年史